

特別支援学校のセンター的機能における 地域支援に関する研究

－ 支援学校及び小中学校教員への調査を通して －

学籍番号	219504
氏名	藤川一輝
大学院主指導教員	今枝史雄
大学院副指導教員	正井隆晶

1. 背景

1.1 特別支援学校のセンター的機能における地域支援について

特別支援学校におけるセンター的機能の一環として、「小・中学校等の教員への支援機能」「障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能」などがある。通常の小中学校の通常の学級には発達障がいの可能性のある児童生徒が約 6.5%在籍しているとされており、地域の通常の小中学校に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒や、困り感を抱えた児童生徒に対して、特別支援教育コーディネーター等が相談に乗り、問題の解決に取り組んでいる。こうした特別支援学校におけるセンター的機能の地域の小中学校に対する支援について、小山・東・佐々木(2018)では「担任や各学校の特別支援教育コーディネーターを支える校内の協働体制」「特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと担任、または小・中学校の特別支援教育コーディネーターが協働して支援を考える体制作り」「検査後の支援の在り方」などが課題にあげられていたり、家塚・加瀬(2018)の中では特別支援教育コーディネーターの専門性に関しても向上が不可欠なものとして取り上げられていたりしている。よって、地域の小中学校への支援に関する課題を検討することで、今後、特別支援学校における適切な地域支援体制の構築の一助になることが考えられる。また、地域支援整備事業に基づき、特別支援学校としてのセンター的機能の役割の一環として、訪問相談や研修講師派遣等で地域の支援教育に関する課題へのアプローチや地域の支援教育向上を行っている。地域支援の更なる充実に向けて検討を進める中で今一度学校のニーズについて把握することが重要であると考えられる。

1.2 本研究の目的

本研究では、特別支援学校教員並びに小中学校教員への調査を通して、特別支援学校のセンター的機能における地域支援の課題を明らかにし、今後の展望を行うことを目的とする。研究は大きく2つからなる。研究1はA県B特別支援学校で地域支援に携わる教員へのインタビュー調査である。研究2はA県B特別支援学校のブロック内にある小中学校への質問紙調査である。

2. 研究

2.1 特別支援学校教員に対するインタビュー調査

研究1ではA県のB特別支援学校で地域支援に携わる教員へのインタビュー調査をして、特別支援学校のセンター的機能における地域の小中学校への支援に関する課題を明らかにすることを目的とした。質問項目としては①教師の専門性(必要なスキル、身につけるために必要なこと、地域支援の具体的な目標、地域支援としての理想)、②行政との連携、③支援者へのフィードバック、④校内体制の4項目7問作成した。教師の専門性の必要なスキルでは「専門的な知識」「コミュニケーション能力」などが挙げられていた。地域支援の具体的な目標では「地域の小中学校での教員の専門性の向上」が挙げられており、地域支援としての理想に関しては「困っている教員、子どもの問題が解決するまで」といったことが挙げられていた。また、行政手続きに関しては「事務処理の簡易化」、フィードバックの理想では「フィードバックシステムの構築(電話、再訪問)」、校内体制に関するところでは「地域担当以外の教員も参加」が共通して挙げられていた。

2.2 地域の小中学校教員に関する質問紙調査

地域の小中学校教員への調査を通して、特別支援学校のセンター的機能の一環である地域支援の利用状況とその効果といった実態を明らかにするとともに、地域支援を利用ニーズについて把握することを目的とした。質問紙調査の結果から訪問相談を行うとその満足度は高いが、訪問相談を実施されていることを知らない学校も一定数あることがわかった。また、他の課題としては行政ルートを通すことや日程調整にハードルを感じる事が挙げられた。さらに現在は地域支援による子どもの変容は教員による主観的評価に依存してしまっているが、助言内容を実行した際の児童の様子が変容したかどうかなど、画一的な評価基準を定めることによりさらに地域支援の効果が明確になると考える。

3. 総合考察

研究1と研究2の共通点として考えられることは行政手続きの在り方である。特別支援学校側、小中学校側の双方から行政手続きの面倒さに対して課題を感じていると言える。また、小中学校からA県のB特別支援学校の地域支援員について期待することや要望では特別支援教育に関する支援方法や研修派遣、アセスメントに関することの記載が見受けられ、研究1の結果にもあるように特別支援学校教員側は特別支援教育に関する専門的知識を身につけるべきであると考えており、小中学校教員側は特別支援学校教員に対して専門的知識を求めていると考えられる。